

## 県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成24年8月27日

県立病院事業評価委員会

### ◎ 総括的評価

平成23年度決算見込みについては、約2億2千万円の赤字であるものの、「第二期宮崎県病院事業中期経営計画」の23年度の目標に対し、赤字額を約2億5千万円圧縮したことは評価できる。

医師や医療スタッフの確保・育成の取組に加え、収益確保や経費節減の取組み等これまでの成果があらわれたものと考えられる。

今後とも、3県立病院それぞれの特色を出しながら、県民にとって魅力ある病院づくりのために努力していただきたい。

### ◎ 個別の提言等

#### 1 病棟クランク

平成23年3月より3県立病院の全病棟で病棟クランクを配置したことは、看護師の事務負担軽減のために有効であり、看護師が看護に専念する時間が増えることで、患者サービスの向上に期待できる。今後は、病棟クランクの更なる有効活用について検討していただきたい。

#### 2 病児等保育

宮崎病院に引き続き平成24年4月より延岡病院で開始した病児等保育については、働く女性にとって非常に有効な施策であり、今後は、利用者アンケートを行うなど、さらに利便性の向上に取り組んでいただきたい。

#### 3 経費節減

抗がん剤などの高額医薬品の使用等により経費は増えているものの、後発医薬品の採用の推進や診療材料の価格削減に精力的に取り組まれていることは評価できる。今後は、委託料等の経費の見直しについて民間病院を参考とするなど検討していただきたい。

#### 4 収益確保

DPC導入に伴う、入院治療から外来治療への流れがある中で、病床利用率が低くなるのはやむを得ないが、病床利用率向上に努めていただきたい。

#### 5 患者サービス

患者がDPCの内容を理解し、納得して治療を受けられるようこれまで以上に十分説明をしていただきたい。